



レインボー支援センターだより

岩手県立盛岡青松支援学校
平成 25年8月19日発行



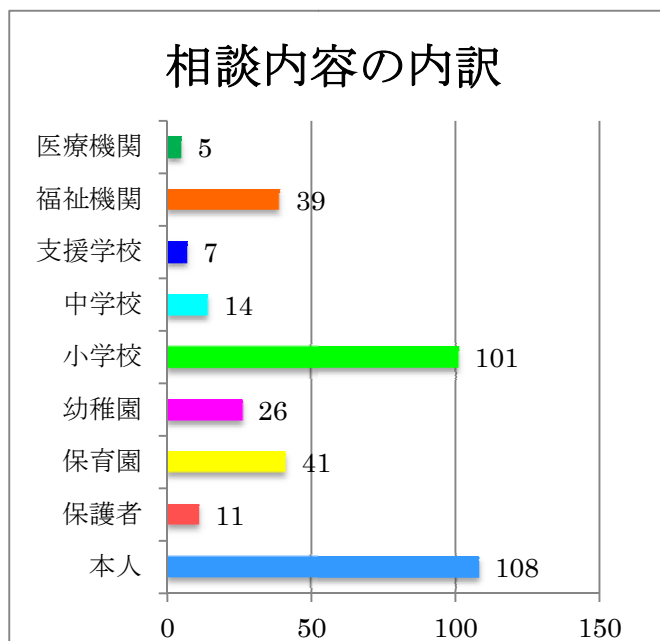
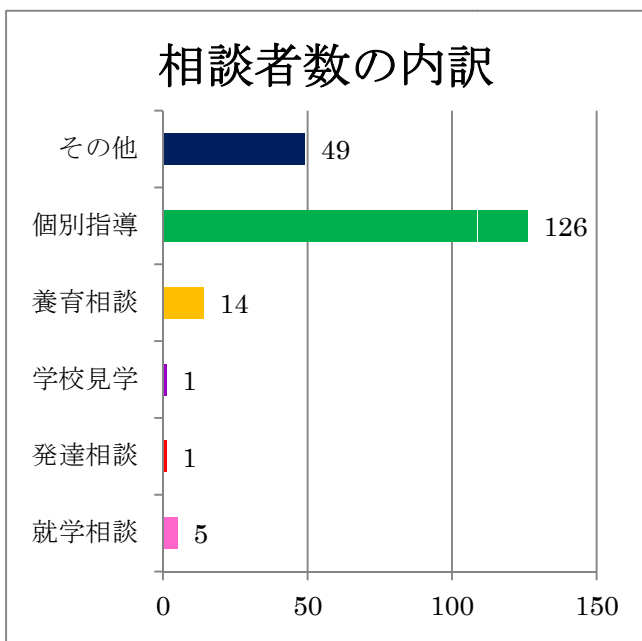
レインボー支援センターの活動を紹介します

気候の変化や体調管理にも気を配る日々が続いていますが、夏休みも明け、日焼けした子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。レインボー支援センターでは生活や学習の悩み、お友達との関係など発達に関わる悩みをもつ方々の相談・支援活動を行っております。

今回は、参考にしていただければと思い、昨年度レインボー支援センターに寄せられた相談・支援内容について紹介いたします。

《H24年度》

- 1 相談件数・・・123件（昨年より2件減）
- 2 相談者数・・・478人（昨年より137件増）※ 延べ人数



今回掲載いたしました相談件数は、24年度、地域の幼稚園・保育園、小・中学校、支援学校を対象とした相談をまとめたものです。（本校への転出入にかかわる相談支援は含まれておりません。）

相談内容は、通常学級に在籍しているお子さんの学習に関する相談、集団参加や対人関係など、生活面でのトラブルに関する相談割合が高くなっています。安心して学習できる環境づくり、授業の工夫、学級ルールづくりなど、実際に生かすことができる手立てについて、学年団や支援チームの先生方と話し合いながらすすめたいと思っております。

相談・支援活動の中で、「何度注意しても・・・」という担当者の声を聞くことがあります。集中力が途切れやすいお子さんや、感情のコントロールが難しいお子さんへの対応については、様々な手立てが考えられますが、その中の一つに行動療法を基にしたペアレント・トレーニングがあります。以下は「えじそんくらぶ、無料ダウンロード冊子（子育てストレスを減らす3つのヒント）から抜粋したものです。私たち教師にも参考になるとと思います。

あったかクラスづくりのコラムより

えじそんくらぶでは、親のストレスマネジメントと子どもの行動の分類をメインにした、ペアレントサポートプログラムを提供しています。大人から見れば好ましくないと思われる子どもの行動も、分析してみると「うっかり忘れる」「指示の意味が分からない」「背後に見捨てられ感があり、注目されたくてわざとやる」という3つの視点が主にあり、それぞれ対応法が異なります。「子どもがどんなことで困っているか」という視点で子どもの言動の観察と分類を行うと、より適切なかわりかかわりがもてるようになるでしょう。

子育てを応援します!
子育てストレスを減らす
3つのヒント

ヒント 2 「ダメな子ね!」となる前に、考えてみましょう
何回言っても言うことを聞かない、よくありますよね。でも、ちょっと待って、そのときの子どもが気持ちい、考えてみませんか?

①間こえていない
遠くでどなっているけど、子どもには聞こえていないのかも。
「あのね...」
近くで注目させてから、話してみましょう。

②うっかり忘れている
指示を聞いても、すぐに忘れてしまう、うっかり屋さんがいっぱい。
「何をやるんだっけ?」と、確認を。

③意味がわからない
「片付ける」の意味がわからない子どももいます。
「ボールをこの箱に入れようね」と、具体的に。

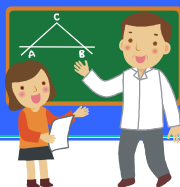
④わざと
注目されたくて、「わざと」やる子どももいます。ママが好きなですね。
「お母さんのお話を聞いてね」と、ほめてあげましょう。

ヒントは、悪い子なんかじゃないのかも...

● レインボー支援センター支援活動 ●

相談内容

訪問や来校、電話での個別相談。
実態把握に関する相談。
個別の指導計画の作成に関する相談。
校内研修会の講師等。



《スタッフ》

- ☆小学部：佐藤 陽子・菊地 美菜
- ☆中学部：松平 久美子・熊谷 恵美・玉井 則子
- ☆訪問教育部：高橋 恵美



● 相談方法 ●

ご相談は、電話（9時～17時）、またはE-Mailにて受け付けております。
ご相談内容をお聞きし、後日改めて相談の日程等についてご連絡いたします。

《盛岡青松支援学校 レインボー支援センター》

TEL 019-661-5125 ・ FAX 019-661-5170

E-Mail shien-soudan@mat-y.iwate-ed.jp

どうぞ お気軽にご連絡ください!